

平成21年度

地域経済活性化対策調査特別委員会
説明資料

- 地域資源の活用と農商工連携の取組について

平成22年1月20日

農水商工部

地域資源の活用と農商工連携の取組について

県では、持続的な経済成長を続けていくために、県内の強みを活かした新産業の育成、中小企業等の技術力・生産性の向上や産業技術人材の育成に取り組むとともに、県内各地域の豊かな地域資源と地域の「知恵」「やる気」を活かした地域ビジネスが生まれる環境づくりや仕組みづくりに取り組んでいます。

特に、農林水産品、産地の技術、観光資源といった地域の特色ある地域資源については、域外との差別化をはかり、商品や役務の付加価値を高める重要な要素となるものです。少子高齢化、過疎化などの社会的要因に加え、第一次産業の停滞などにより地域の活力が低下している中で、地域資源を活用した取組を支援する目的で、「中小企業地域資源活用法」や「農商工等連携促進法」も相次いで施行されました。

地域資源を活用した取組については、多くの中小企業等の新たなチャレンジを促進する地域の新たな強みづくりでもあり、地域における知識やノウハウの蓄積、消費者の認知度の向上等とあいまって、地域ぐるみの活動を促し、ひいては地域経済の活性化につながっていくものだと考えています。

このような認識のもと、県では、国の動きと連動し、平成19年度から「みえ地域コミュニティ応援ファンド」や「みえ農商工連携推進ファンド」を組成し、それぞれの地域の伝統技術、特色ある農林水産品やものづくり基盤などの特徴を活用した商品づくりや新サービスの開発、販路開拓などを、産学官の連携や農商工連携により進めているところです。

1 地域資源の活用促進について

(1) 中小企業地域資源活用促進法による認定

国において、平成19年6月に中小企業地域資源活用促進法が施行され、各地域の強みとなりうる地域資源を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・販路開拓等を総合的に支援しています。

県においては、同法に基づき基本構想を策定し、農林水産品55品目、鉱工業品51品目、観光資源63ヶ所、計169の地域資源を指定し、18企業が事業計画の認定を受けています。

(2) みえ地域コミュニティ応援ファンド（果実運用型）事業による助成

県では、地域の課題を解決するビジネスや地域資源を活用した事業創出など、地域の実情に応じた多彩な地域ビジネスが次々と生まれる環境づくりや仕組みづくりを進めるため、平成19年10月に10億円を、平成20年10月には

40. 1億円を追加して、総額50. 1億円の「みえ地域コミュニティ応援ファンド」を造成して、地域ビジネスの創出に向けた取組を支援することとしました。

その運用果実により、これまでに、46件の事業に対して支援を行っており、さらに、今年度第2回目の募集により23件の事業を採択する予定となっています。

2 農商工連携の促進について

(1) 農商工等連携促進法による認定

国において、平成20年7月に農商工等連携促進法が施行され、中小企業者と農林漁業者が有機的に連携した新商品・新サービスの開発・販路開拓等を総合的に支援しています。

これまでに、県からは、6件の連携事業が計画認定を受けています。

(2) みえ農商工連携推進ファンド事業による助成

県では、中小企業者と農林漁業者との連携により、互いの経営資源の活用による創意工夫を凝らした事業など、双方の成長・発展を促す取組を支援することで、地域産業の活性化を図るため、平成21年11月に「みえ農商工連携推進ファンド」を25億円で造成し、その運用果実により、連携事業に対する支援を開始したところです。なお、今年度の募集により、3件の事業を採択する予定となっています。

3 商工団体と連携した取組等について

ファンド等を活用した取組により、地域が持続的な経済成長を実現していくためには、市町をはじめ、地域の商工団体等との連携が重要と考えています。

そのため、市町や商工団体・金融機関等と連携して事業の広報等周知を行うとともに、商工会・商工会議所との連携による説明会・相談会を開催し、制度内容の周知に加え、事業計画策定の助言等きめ細かな支援も行っています。

また、採択を受けた事業者への支援については、(財)三重県産業支援センターに設置したアドバイザーや専門家派遣による個別支援や首都圏へのPR等販路開拓支援を行うなどの取組を進めています。

さらに、今後は、開発された商品等の販路開拓支援を強化するなどの新たな取組も進め、多様な主体の連携により、地域ぐるみの活動への展開となるよう取り組むことで、地域経済の活性化に繋げてまいりたいと考えています。

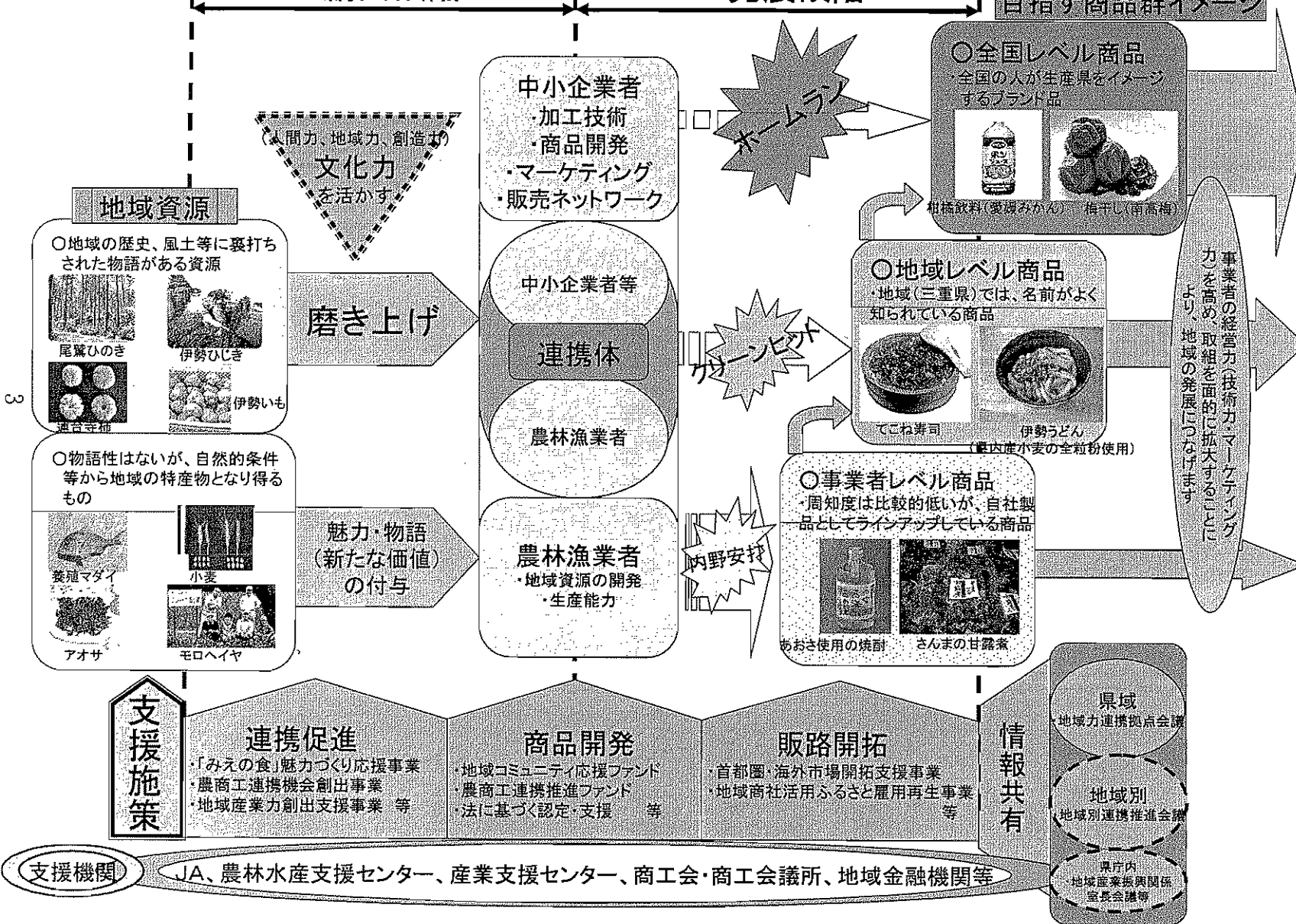
地域資源（主として農林水産物）の活用と農商工等の連携促進

別紙

創出段階

発展段階

目指す商品群イメージ



地域資源の活用と農商工連携の促進

中小企業地域資源活用促進法(H19.6施行)

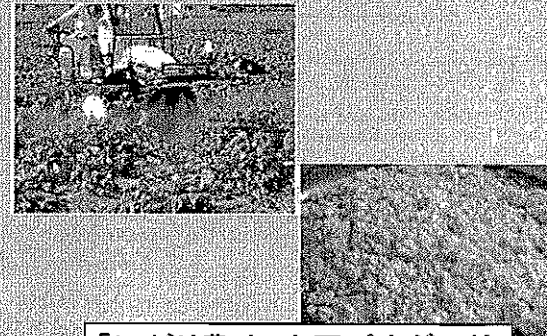
- ・県内の農林水産物、産地の技術、観光資源 169品目を指定。
- ・上記の資源を活用した県内18企業が計画認定



伊賀焼き活用製品

農商工等連携促進法(H20.7施行)

- ・中小企業と農業者等の6連携体が計画認定

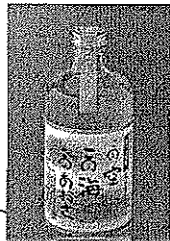


「にがり農法」大豆パウダー等

国の支援制度

地域コミュニティ応援ファンド(H19~20組成)

- ・基金総額50億円の果実(約7000万円/年)を活用
- ・地域資源活用、地域課題解決ビジネスに助成
- ・これまで69件の事業を採択・内定



あおさを原料とした焼酎

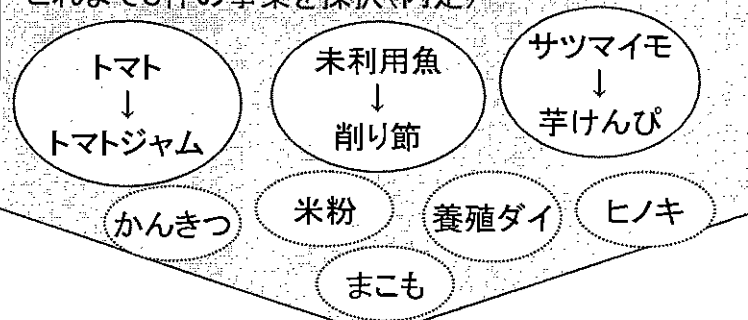


高齢者と若者参加型直売施設

県の支援制度

農商工連携推進ファンド(H21組成)

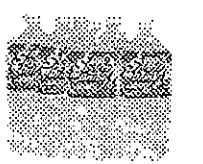
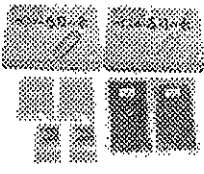
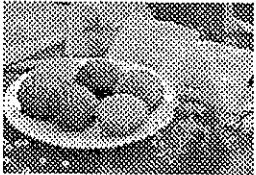
- ・基金総額25億円の果実(約3500万円/年)を活用
- ・中小企業と農林漁業者の連携体事業に助成
- ・これまで3件の事業を採択(内定)

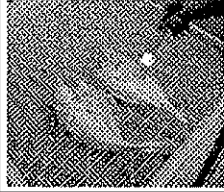
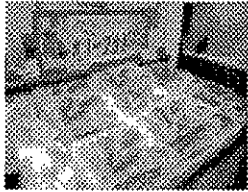

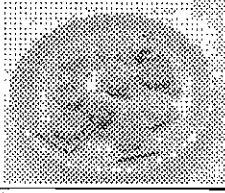
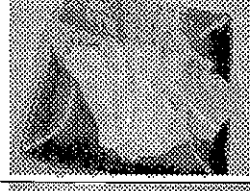
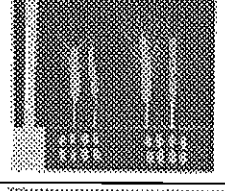
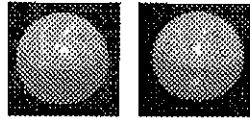
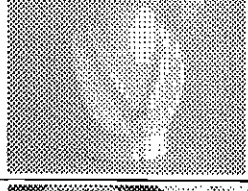
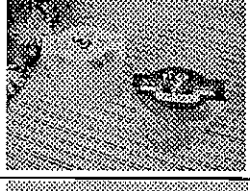

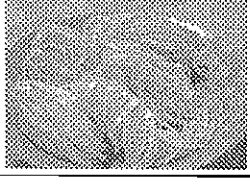


地域産業の活性化

中小企業地域資源活用促進法 認定事業者一覧

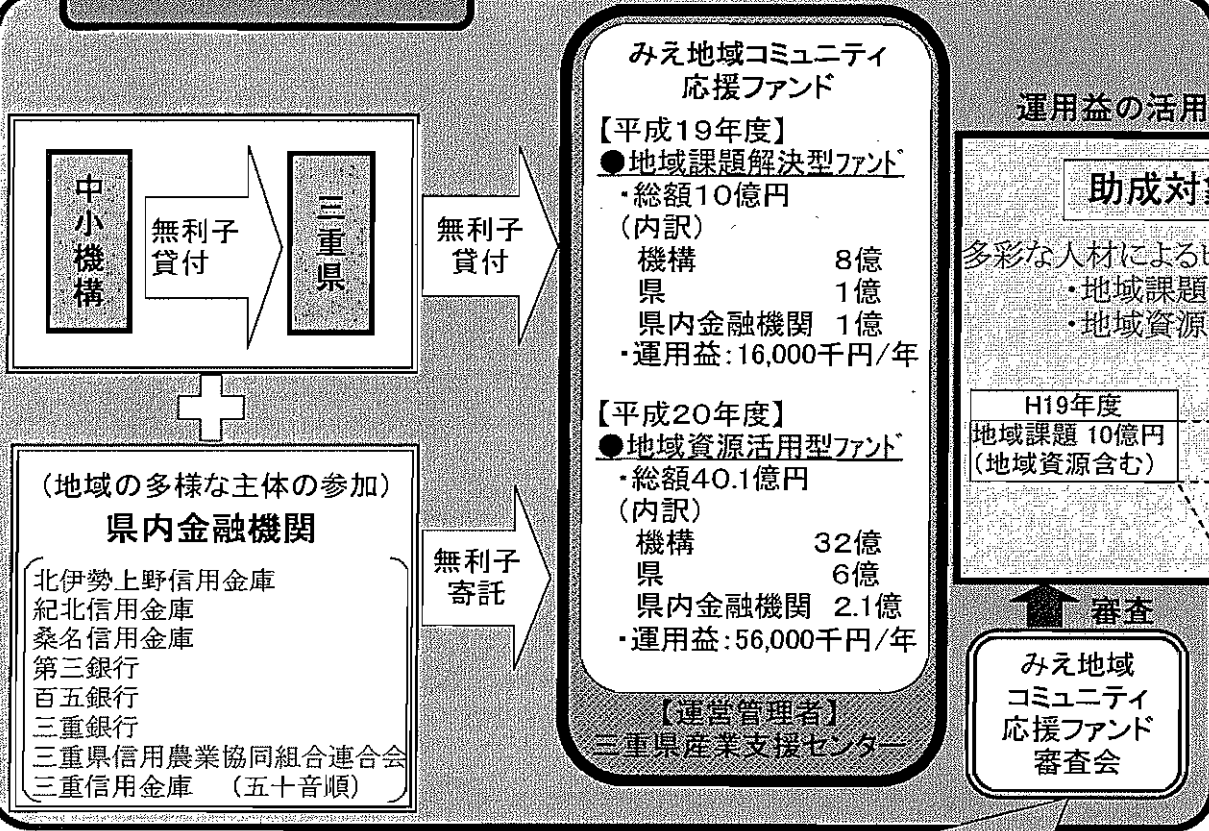
平成22年1月20日現在

	事業者名	所在地	活用地域資源	事業概要	対 象 商 品
1	長谷製陶(株) 平成19年10月12日認定	伊賀市	伊賀焼	伊賀焼の特長である「呼吸する土」と呼ばれる陶土や焼成技術を活かした熱源の多様化に対応する新陶製調理器群～「温・故・値・新」シリーズ～の製造・販売事業	 
2	東海鑄造(株) 平成19年10月12日認定	桑名市	桑名の鑄物	桑名の鑄物技術を生かした海外向けホーロー鑄物五徳を中心とした鑄物製品の製造販売事業	 
3	ギョルメ舎フーズ(株) 平成19年12月10日認定	紀北町	東紀州の干物	電子レンジでの簡単調理を実現した「東紀州の干物」の新・食スタイル～「そのまんまレンジ」「レンジ料亭」各シリーズの製造・販売事業～	 
4	ミナミ産業(株) 共同申請者: (株)クリエイト寿づか 平成19年12月10日認定	四日市市	四日市萬古焼	萬古焼を活用した蒸気二重鍋式「萬来鍋」と地元食材による手づくり豆腐キット(萬来シリーズ)の事業化及び販路開拓	 
5	三和水産(株) 平成20年2月20日認定	尾鷲市	養殖まだい	地元尾鷲の養殖まだいを活用し、独自の製法技術で開発、商品化した「焼鯛」の販売と販路拡大	 
6	鯛鷺洋 平成20年2月20日認定	尾鷲市	養殖まだい	尾鷲の養殖まだいを活用し、独自の製法で加工商品化された「鯛めし」を中心とした鯛関連商品群の製造販売事業	 
7	尾鷲名水(株) 平成20年3月26日認定	尾鷲市	みえ尾鷲海洋深層水	「みえ尾鷲海洋深層水」を活用したOkcalスポーツドリンクの製造・販売	
8	(有)サンエイ 平成20年3月26日認定	志摩市	伊勢志摩の郷土寿司	志摩地方の郷土料理「てこね寿司」が家庭で簡単に味わえる『てこね寿司の素』の製造販売	 
9	(株)ブランカ 平成20年3月26日認定	鳥羽市	蓮台寺柿	蓮台寺柿葉を活用した地元銘菓「シェルレーヌ」の新商品(アソート品含む)の製造販売	 

	事業者名	所在地	活用地域資源	事業概要	対象商品	
10	(株)アシベ工芸 平成20年9月24日認定	亀山市	亀山のローソク	洋ろうそくの製造技術を活用し、樫(ハゼ)の実を配合した、芯切り不要な新『和ろうそく』の製造販売		
11	漁火食品(株) 共同申請者:奥村水産(株) 平成20年9月24日認定	南伊勢町	伊勢志摩の干物	伊勢・志摩の干物を活用した「志摩産焼き上げ一夜干シリーズ」-オリーブ焼き・ワイン焼き他-の開発・販売		
12	(株)アーリー・バード 平成20年12月24日認定	伊勢市	鳥羽の離島	伊勢鳥羽初、産学官民連携や科学的根拠に基づいた企画(運動、食事、健康指導)と離島の観光資源を融合させた「ウェルネスの旅」の催行		
13	(有)若松屋 平成20年12月24日認定	伊勢市	水産練製品	伊勢かまぼこの製造技術を活用した「ソフト新魚肉練り商品シリーズ」の開発、販路拡大		
14	大松屋 平成21年2月23日認定	志摩市	燻製	「お刺身感覚で食せる魚介類冷燻商品」の開発・製造販売		
15	(株)堀製麺 平成21年2月23日認定	四日市市	小麦、伊勢うどん	県内初の三重県産小麦を100%使用した全粒粉配合の伊勢うどんの開発、生産及び販路拡大		
16	(株)アイ・シー・イー 平成21年7月10日認定	志摩市	真珠	独自の加工技術により実現した、真珠本来の美しさ・輝きを持つ伊勢志摩産真珠製品(商品名:ナチュレアパール)の製造及び販売	 【天然産品(左)と通常の真珠(右)】	
17	奥野食品(株) 平成21年9月11日認定	松阪市	大豆	三重県産大豆に納豆製造技術を活かした納豆惣菜・納豆スイーツの開発販売事業		
18	(株)いとめん本店 平成21年12月4日認定	四日市市	小麦	三重県産小麦を使用した新食感生パスタシリーズの開発、製造及び販路拡大		

みえ地域コミュニティ応援ファンドの助成イメージ

ファンドのスキーム



◆地域課題解決型ビジネス

「チェ」
地域課題

〔地域課題の解決を図る取り組み〕

【ビジネスの事例】

- ・団塊の世代の就労、社会進出
- ・女性の就労環境整備
- ・高齢者への配慮
- ・外国人就労者との共生
- ・商店街の空洞化
- ・荒廃農地森林の保全活用 等

地域活性化のための取組

◆地域資源活用型ビジネス

鉱工業品 産地の技術
 観光 資源
 農林 水産品

〔「中小企業地域資源活用促進法」に基づく地域資源や、知名度は低いものの地域に根ざした、地域特有の資源を有効に活用した取り組み〕

【ビジネスの事例】

- ・農林水産物の加工品開発、ブランド化
- ・産地技術を使った商品開発、ブランド化
- ・観光地への集客機能の強化、ブランド化
- ・地域産品を材料に、地物を売りにした商品開発 等

審査会メンバー： 県、県産業支援センター、学識経験者、金融・販売・技術等の専門家、中小企業基盤整備機構 等

選定の視点： 地域活性化への貢献度、経営性、継続意欲 など

助成額：2,000千円(上限)、助成率2/3

みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金採択事業一覧
(地域課題解決)

採択年度	区分	市町	企業名	採択事業のテーマ	地域の課題
平成21年度 (第1回)	課題解決	1 四日市市	三重の物産展実行委員会	三重の誇れるもの「三重のみえっぱり」(地域ブランド名)を活用した地域活性化プラン	大型郊外店進出による中心市街地の空洞化
	課題解決	2 四日市市	株式会社ティアラ	託児ビジネスを活用した近鉄四日市駅西商店街活性化プラン	駅周辺の小規模商用施設の活性化
	課題解決	3 津市	有限会社NEXT2000	音楽イベント開催による伊勢志摩宿泊客増加計画	伊勢志摩地域への宿泊数の減少
	課題解決	4 志摩市	辻村商店	個人事業主が障がい者と始める雇用促進協働事業プラン	障がい者の就労環境整備
	課題解決	5 名張市	中村 大学	認可保育園や学童保育が対応し切れていない時間帯・受入年齢の児童の預かりに関する課題解決プラン	女性の就労環境整備
平成21年度 (第2回) (内定)	課題解決	1 四日市市	古田 理江	地元主婦の手作り品の市を商店街で開催し主婦の社会進出と商店街を活性するプラン	主婦の社会進出と商店街活性化
	課題解決	2 松阪市	村井楽器株式会社 村井 政樹	音楽療法を取り入れた楽器店の教室経営で、三重県南勢地域のノーマリゼーション促進	障がい者に対するサービスの提供
	課題解決	3 松阪市	ラモシオン 垣内 章伸	僕・私もはたらきたい！ 障がい者施設・特別支援学校に楽器作りで仕事創出プラン	障害者の就労環境整備
	課題解決	4 熊野市	更屋 英里香	訪問型美容サービスを通じた地域の元気見守りプラン	独居老人の見守り

平成20年度	課題解決	1	伊勢市	合同会社せんぱいの店	地域の安心安全食材の活用と地元相可高校食物調理科卒業生の雇用および起業の課題解決プラン	作付面積の減少を止める農産物流通ネットワークの確立
	課題解決	2	志摩市	特定非営利活動法人志摩ネットサポート	①「海から産する廃棄物の堆肥化」プラン ②「公共施設からの生ゴミの堆肥化」プラン	海岸部の環境美化や英虞湾環境保全
	課題解決	3	大紀町	あじさいの道ほほえみ会	あじさいの道から始まった阿曾地域の元気づくりプラン	女性の就労環境整備
	課題解決	4	紀北町	森林組合おわせ内ものづくり実行委員会	木のものづくりから木のまちづくりプラン	間伐小径木の新規利用による森林保全
	課題解決	5	尾鷲市	くまの体験企画	熊野古道や東紀州の地域資源を活用した持続できるエコツアーや体験事業の企画・実施・ガイドングサービスプラン	熊野古道語り部など熱意ある人物が活動できる場の創出
	課題解決	6	御浜町	尾呂志地場産品生産組合	地域資源(人・農作物)を活用した高齢者・若者参加型地域活性化プラン	遊休農地の活用、過疎、高齢化地域の活性化
	課題解決	7	東員町	特定非営利活動法人生ごみリサイクル思考の会	地域の空き店舗の有効利用と団塊の世代の地域貢献参加促進プラン	空き店舗を拠点に団塊の世代の社会進出
	課題解決	8	伊賀市	小嶽 忠明	青山休耕田の活用と老人雇用創出プラン	遊休農地の活用、過疎、高齢化地域の活性化
	課題解決	9	伊勢市	辻村 みすづ	三重県産間伐材のベンチで、伊勢の街の景観保護と観光客をおもてなしプラン	観光客・高齢者等へのサービスの提供


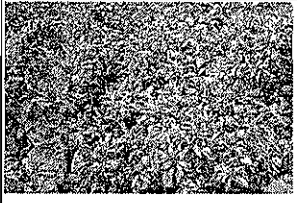


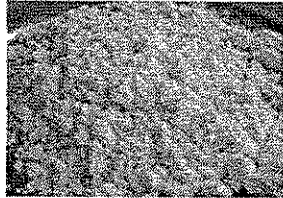
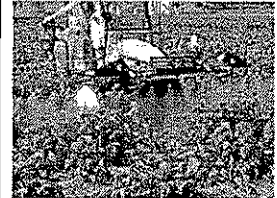

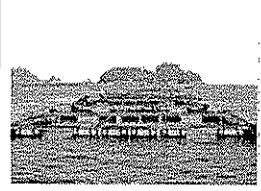
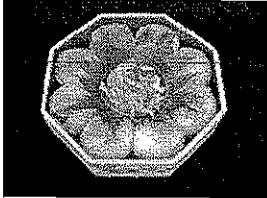
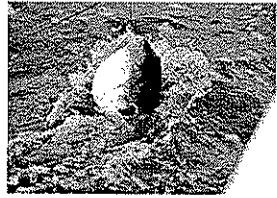

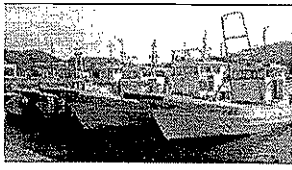
平成19年度	課題解決	1	四日市市	原 順子	健康ツーリズム、マクロビオテック料理を活用した『湯の山温泉の活性化』、『地元有機野菜の付加価値向上』、『国民の健康維持・増進』プラン	湯ノ山温泉への来訪者減と企業保養所の利用度低下
	課題解決	2	松阪市	特定非営利活動法人Mブリッジ	市民の知識・技術から生まれる文化交流を活用した地域活性化と、空き店舗の課題解決プラン	中心市街地の空き店舗活用
	課題解決	3	南伊勢町	有限会社マサヤ	南伊勢町特産品「あおさ」を使った世界初の焼酎の開発・販売プラン	停滞した地域産業のモチベーションアップ
	課題解決	4	紀北町	ギョルメ舎フーズ株式会社	東紀州地域「地場産品」のネットカタログ販売事業創設による流通革新計画	地域小規模事業者の活性化
	課題解決	5	紀宝町	熊野川体感塾	熊野川体験プラン	地元高齢者の活動場所の創出、熊野古道の保全

みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金採択事業一覧
(地域資源活用)

採択年度	区分	市町	企業名	採択事業のテーマ
平成21年度 (第1回)	地域資源	1 四日市市	アイドゥ株式会社	三重県産ひじきを資源活用した医療用栄養強化食品の開発および販売プラン
	地域資源	2 四日市市	株式会社稲藤	300年の伝統「日永うちわ」とハイテク素材とのコラボ商品の開発、産地再生プラン
	地域資源	3 津市	株式会社北山水産	最高に美味しい「ちりめん」を製造販売することで地元を元気に！プラン
	地域資源	4 伊賀市	伊賀市商工会	地元商工業者の「菱の実」を使った商品開発と市販化の支援プラン
	地域資源	5 松阪市	株式会社中野	紀宝町の古式静置醗酵酢を使った新梅酒の開発と販売プラン
	地域資源	6 明和町	明和町特産品振興連絡協議会	明和町特産品の販路開拓とブラッシュアップによる新たな特産品の開発プラン
	地域資源	7 多気町	有限会社レストハウス柑里	三重県の地域資源「伊勢いも」を全国の食卓へ、「伊勢いも」流通の課題解決プラン
	地域資源	8 大台町	株式会社宮川物産	清流日本一奥伊勢宮川流域、自然の恵みを活用した新商品開発及び高齢者イキイキプラン
	地域資源	9 伊勢市	伊勢春慶の会	伊勢春慶テーブルウェアのデザイン開発と河崎「商人蔵カフェ」アンテナショッププラン
	地域資源	10 志摩市	有限会社旅館橘	熟・昆布〆魚(じゅく・こぶじめ・うお) 志摩地域で多く水揚げされる魚類を昆布〆し、熟成させることにより、商品価値を高め真空することにより全国に流通させるプラン
	地域資源	11 尾鷲市	特定非営利活動法人天満浦百人会	お母さんたちが町のシンボルの古民家を復活させ、地域資源を複合的に連携して町全体を元気にする地域資源活用プラン
	地域資源	12 尾鷲市	有限会社ドーモ尾鷲営業所	海洋基本法の施策に準じた「熊野灘一円を使い、海を楽しく学ぶための体験事業」プラン
	地域資源	13 紀北町	楢井 義久	紀州の海と山を満喫！地元の人お薦めの地域資源を使った熊野古道ツアーのおみやげ開発プラン
	地域資源	14 紀北町	有限会社モリタ	麺づくり半世紀の職人と地域の海山「スープ付種まき権兵衛ラーメン」お客さま協創計画プラン
	地域資源	15 熊野市	有限会社赤倉水産	赤倉のフリークライミングルートと昔ながらの風情を活かした田舎の癒し体験民泊事業プラン
	地域資源	16 熊野市	有限会社寿建設	丸山千枚田と瀨峡を活用した山と川一体型体験プラン

平成21年度 (第2回) (内定)	地域資源	1	四日市市	浅岡窯業原料株式会社	新機能陶土の研究開発とその供給による四日市萬古焼(地域資源)の持続的発展プラン
	地域資源	2	四日市市	酔月陶苑	四日市萬古焼きの伝統技法「木型萬古」を現代の技法とする樹脂製内型の開発・販売プラン
	地域資源	3	津市	株式会社横山食品	『お魚豆腐がんも』をプラットフォームとして活用した4種の地域資源の全国発信プラン
	地域資源	4	津市	ルキナ	三重県産真珠の美しさを広め余すことなく有効利用したネイル用品の開発・販売プラン
	地域資源	5	名張市	NPO法人 ナルク 伊賀名張拠点「生きがいクラブ」	ブルーベリー園再生と果実の製品化事業プラン
	地域資源	6	松阪市	株式会社佛英堂	伊勢春慶塗仕様の仏壇仏具を復活再生し、伝統技術の継承・育成と地域活性化をめざす
	地域資源	7	松阪市	株式会社 Head Chara	新市場・新商品開発に伴う伊勢茶活性化プラン
	地域資源	8	多気郡明和町	味の來々軒	県民と地域事業者の共同による地域特産品”伊勢ひじき”を活かした「新ひじきらーめん」の共創と市場開拓アクションプラン
	地域資源	9	多気郡明和町	辻長作商店	地域特産品”伊勢ひじき”を活かした新食感・新味覚・新視覚の和菓子づくりと販売事業
	地域資源	10	多気郡大台町	道の駅奥伊勢おおい株式会社	ジビエ加工品(獣肉ミンチ等)と地産の農産物を活用した「ご当地バーガー」開発プラン
	地域資源	11	伊勢市	株式会社荒木海産	伊勢湾漁協管内の地域・期間を限定した高品質「伊勢手掘りあさり」のブランド化プラン
	地域資源	12	鳥羽市	株式会社サン・サービス	付加価値の低かった伊勢志摩産クロナマコ拡大を目指した加工品の開発と国内外市場開拓
	地域資源	13	鳥羽市	有限会社丸善水産	浦村産マガキを使用した「牡蠣カレー」、「牡蠣カレー伊勢うどん」、「牡蠣ごはんの素」の販売による漁家経営改善並びに魚価所得の向上促進プラン
	地域資源	14	北牟婁郡紀北町	おかずの店 祐美	みんなでワイワイガヤガヤ 手作りB級グルメこだわりのハンバーガー作りプラン
	地域資源	15	北牟婁郡紀北町	紀北町商工会	小規模零細事業と都市圏大手旅行社の連体による紀北町ご当地銘品&グルメランチづくりプラン
	地域資源	16	北牟婁郡紀北町	農事組合法人 ファクター	採卵を終えた後の廃鶏を利用した鶏肉の地域資源活用プラン
	地域資源	17	北牟婁郡紀北町	丸万水産株式会社	伝統的丸干し秋刀魚製法に伊勢茶の効果を科学的に融合させた生臭みの少ない干物の創出
	地域資源	18	北牟婁郡紀北町	海山物産株式会社	豊かな自然、東紀州産養殖ブリを活用した地域ブランド「ブリの照り焼き」開発プラン

	地域資源	19	熊野市	はじ丸水産	甫母町の特産品「麦みそ」を使ったオンリーワン干物の開発・販路拡大プラン
平成20年度	地域資源	1	四日市市	サンセラミックス協業組合	地域資源である四日市萬古焼と伊勢茶の「快適生活具開発」プラン
	地域資源	2	津市	株式会社TOMORROW	御殿場海岸を活用した地域住民参加型楯干網漁による観光集客プラン
	地域資源	3	津市	株式会社猪乃倉	「猪の倉温泉」の温泉水を活用した高付加価値商品の開発・販売プラン
	地域資源	4	南伊勢町	農事組合法人土実樹	柑橘類を中心とした南伊勢町 地場産品の開発・販売拠点整備プラン
	地域資源	5	南伊勢町	古和浦未来クラブ	豊かな自然の恵みと生活文化の恵み、人々の強い絆でつくる地域特産品開発プラン
	地域資源	6	志摩市	志摩特産品有限責任事業組合	「御食つ国・志摩」のクロスマーチャンダイジングによる全国制覇達成プラン
	地域資源	7	志摩市	山本水産有限会社	アコヤ真珠の体験工房を核とした参加型集客観光プラン
	地域資源	8	尾鷲市	企業組合向井フレンズ	「次ちゃんのサンマ甘露煮」のブランド化と商品開発プラン
	地域資源	9	尾鷲市	尾鷲観光物産協会	おわせ特産品会員制通販システム「尾鷲まるごとヤーヤ便」による販路拡大大作戦プラン
	地域資源	10	紀北町	ウッドメイクキタムラ	木を知る匠技と生活空間デザインで売る ～尾鷲ヒノキ間伐材活用商品開発&市場創造～プラン
	地域資源	11	御浜町	有限会社すぎもと農園	青みかんを原料とした無添加石鹸開発・販売プラン

	事業者名及び所在地	事業概要	対象商品	
1	<p>中小企業者:おわせ深層水しお学舎(尾鷲市)</p> <p>農林漁業者:NPO法人天満浦百人会(尾鷲市)</p> <p>平成20年9月19日認定</p>	<p>尾鷲特産の甘夏みかんと、みえ尾鷲海洋深層水の塩で作る体にやさしい「夏柑塩(なつかんじお)」シリーズの製造と販売</p>		
2	<p>中小企業者:神楽酒造(四日市市)</p> <p>農林漁業者:近藤緑化(鈴鹿市)</p> <p>平成20年9月19日認定</p>	<p>日本初のタブノキから抽出したエキスを原料とするリキュールの製造・販売事業</p>		
3	<p>中小企業者:ミナミ産業(四日市市)</p> <p>農林漁業者:斉藤農場(四日市市)</p> <p>平成21年2月25日認定</p>	<p>深層水を活用した「にがり農法」による大豆と米の生産、及びこれを使用した大豆パウダーと米粉パウダー及び加工食品群の製造販売</p>		
4	<p>中小企業者:三紀産業(尾鷲市)</p> <p>農林漁業者:尾鷲物産(尾鷲市)</p> <p>平成21年2月25日認定</p>	<p>尾鷲特有の安全、安心な養殖技術を活用し、養殖マダイと養殖ブリを使い、利便性向上を目指した昆布じめ寿司等の加工食品の開発、販売</p>		
5	<p>中小企業者:丸勢水(志摩市)</p> <p>農林漁業者:安乗の漁業者4名(志摩市)</p> <p>平成21年7月17日認定</p>	<p>三重県産天然「あのりふぐ」を使用したトラフグ加工食品等の商品開発・販売</p>		
6	<p>中小企業者:榎浜与(鳥羽市)</p> <p>農林漁業者:幸積丸(鳥羽市)</p> <p>平成21年12月10日認定</p>	<p>伊勢湾産のカタクチイワシ・コウナゴを活用した総菜の製造・販売事業</p>		

〇みえ農商工連携推進ファンド(三重県)の概要

運営主体	財団法人三重県産業支援センター
ファンド総額	25億円(うち中小機構融資額20億円)
機構の貸付機関	10年間(無利子)
特徴	「松阪牛」「伊勢えび」「尾鷲ひのき」など全国に通じる高いブランド力を持った農林水産物や数多くの特色ある農林水産資源を生かした様々な事業化を図るため、農林漁業者や中小企業者等との連携による新商品・新サービス開発、研究開発、連携体形成を促進する。

みえ農商工連携推進ファンドの概要

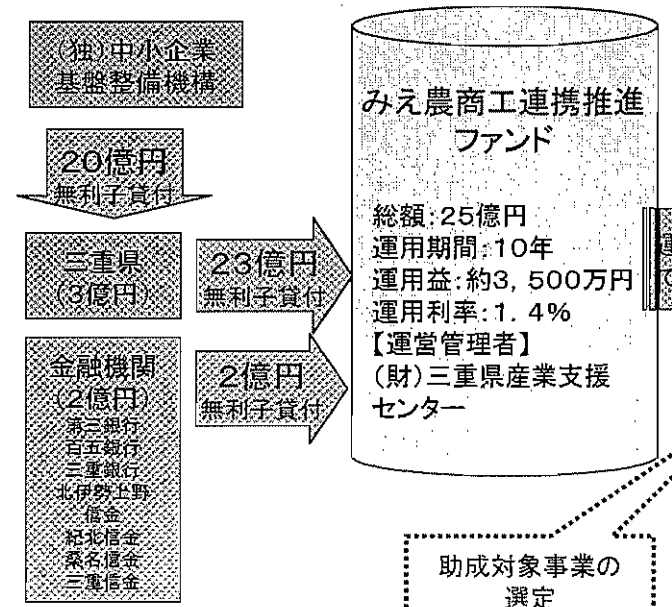
【目的】
 地域産業の活性化を図るため、中小企業者等と農林漁業者との連携を強化し、互いの経営資源の活用による創意工夫を凝らした事業など、双方の成長・発展を促す取組を支援する。

支援重点分野
 〇製造業、卸売業、サービス業、小売業の食品に関する中小企業者等と農林漁業者の連携体による新たな取組を支援
 〇大学、公設試等の研究機能を活用した高付加価値商品・サービスの研究開発及び事業化の促進

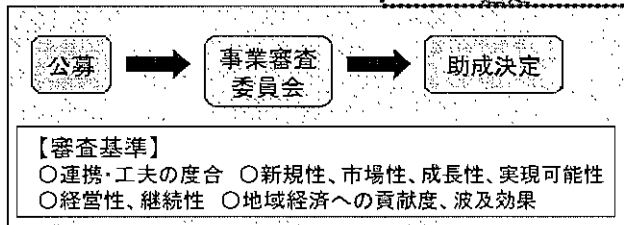
【新商品・新サービス開発等支援事業】
 (1)一般型
 中小企業者等と農林漁業者の連携体を支援
 ・助成限度額:400万円 ・助成率:2/3以内
 ・助成期間:2年間以内
 (2)産学官共同研究開発型
 大学、公設試等との共同研究開発を行う中小企業者等と農林漁業者の連携体を支援
 ・助成限度額:500万円 ・助成率:2/3以内
 ・助成期間:2年間以内

【農商工連携体支援事業】
 中小企業者等と農林漁業者の連携体の事業化を促進する産業支援機関の取組を支援
 ・助成限度額:300万円 ・助成率:10/10以内
 ・助成期間:1年間以内

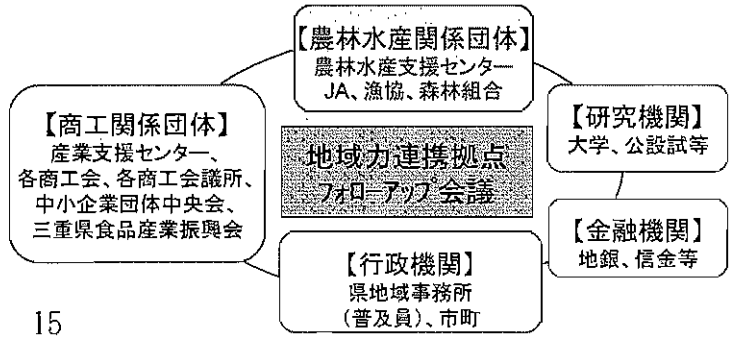
【事業成果に係る目標】
 ・短期目標:3年以内に事業化:30%以上
 ・長期目標:基金の終了年度において、事業化した年度と比較して
 中小企業者→総売上額が4%以上増加
 農林漁業者→当該農林水産物の売上額が4%以上増加



助成対象事業の選定



連携支援



平成21年度 第1回 みえ農商工連携推進ファンド助成金 ビジネスプラン一覧表 (内定)

	申請者	事業内容	各申請者の役割
農 商 工 1	<p>【農林漁業者】 桑名市長島町中川598 安井 清茂</p> <p>【中小企業者】 桑名市長島町大倉1-406 有限会社 大倉スーパー 代表取締役 伊藤 克彦</p>	<p>一般消費者(菓子店や観光客等)や学校給食を対象にして、トマトの規格外品を原料にした加工品(ジャム等)の製造・販売を行う事業</p>	<p>【農林漁業者】 ・EM栽培された「規格外品トマト」の供給を行う役割。 ※EM栽培…全て安全で有用な微生物で光合成細菌・乳酸菌・酵母・放線菌などを80余種共生させた液状の微生物です</p> <p>【中小企業者】 ・規格外品トマトを原材料に加工品(ジャム、ピューレ、ソース)の製造・販売を行う役割</p>
農 商 工 2	<p>【農林漁業者】 志摩市志摩町和具186 宮崎水産 株式会社 代表取締役 宮崎 健之助</p> <p>【中小企業者】 志摩市大王町波切1000-2 有限会社 久政 代表取締役 橋爪 政吉</p>	<p>主に観光ホテルや料理店を対象にして、志摩地域の定置網で漁獲した未利用魚を原材料にした「節」の製造・販売を行う事業</p>	<p>【農林漁業者】 ・定置網で漁獲した未利用魚の供給を行う役割 ※未利用魚…漁の際に漁獲された小魚等である。流通の規格には合わなかったり、消費者にとって、なじみが薄いため商品価値が低い魚のこと (小イサギ、小タイ、ホテ、ギンマハギ、ハモなど)</p> <p>【中小企業者】 ・既存の加工技術を活かして、未利用魚を原材料にした「節」の製造と販売を行う役割</p>
農 商 工 3	<p>【農林漁業者】 尾鷲市向井町167-4 農事生産塾「向井の里」 奥地 啓吾</p> <p>【中小企業者】 尾鷲市古江町192 株式会社 モクモクしお学舎 代表取締役 栗本 靖士</p>	<p>一般消費者を対象にして、尾鷲産のサツマイモと海洋深層水の塩を原材料にした「塩けんぴ」の製造・販売を行う事業</p>	<p>【農林漁業者】 ・耕作放棄地において「塩ケンピ」の材料となるサツマイモの生産を行う役割</p> <p>【中小企業者】 ・「塩ケンピ」の材料となる塩の生産とこれまでの商品開発力を活かし、商品の製造・販売を行う役割</p>

中小企業地域資源活用促進法に基づく認定事業計画

■認定日:平成19年10月12日 ■地域資源名:伊賀焼 ■地域:伊賀市

事業名:伊賀焼の特長である「呼吸する土」と呼ばれる陶土や焼成技術を活かした熱源の多様化に対応する新陶製調理器群「温・故・値・新」シリーズの製造・販売事業

会社名:長谷製陶株式会社

所在地:三重県伊賀市丸柱569

連絡先:TEL:0595-44-1511 FAX:0595-44-1001

H P: <http://www.igamono.co.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

・伊賀焼は、古琵琶湖層の粘土の特徴により耐熱、耐火、多孔質性、吸水性に優れた特長を有しており、古来、陶製調理器の産地であったが、海外産普及等により、他の産地同様停滞縮小傾向にあった。
・現会長(7代目当主)は、市況が低迷する中で、産地の原点に立ち返り、「作り手こそ、真の使い手であれ！」の考えのもと「用・美・楽」をコンセプトに使いやすく、美しく、楽しい調理用陶器を追求し、「生活の場で使ってもらえる陶器」を作ることに邁進。
・本事業では、多様化する熱源(ガス・IH・電子レンジ・カセットコンロ等)に対応するとともに、気軽に安全で楽しく「蒸す、焼く、煮る、燻す」の調理ができる機能性を持った製品群～「温・故・値・新」シリーズ～の製造、販売を行う。
(「温・故・値・新」...古きよきものをあためて、新しい価値を創造する)



【ヒット商品:かまどさん】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・「温・故・値・新」をコンセプトとして、伊賀焼の特徴「呼吸する土」を最大限に活かした10種類の新たな商品群。
・会長自らの家族との食卓の団欒を出発点とした利用者視点を重視し、ライフスタイルに沿った熱源への対応。

◆市場性

・通販会社、購入者からの声やガス機器メーカーとの連携によるニーズに応える商品開発。
・比較的高額商品であるが、一部が損壊しても使えるようパーツの別売りなどアフターサービス面での対応を充実。
・オール電化など拡がりを見せる熱源市場に対応。

◆販路

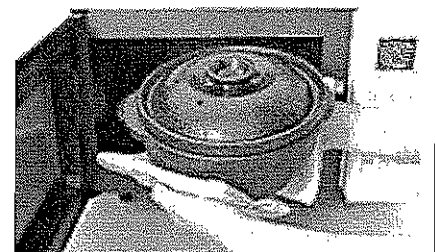
・直販、通販、ギフト市場に加え、ガス機器メーカー等との共同販売の拡大、有名百貨店でのキッチン売り場への売り場改革。

地域資源における関係事業者との連携

・産地の活性化と量産化に向け、産地の同業者に技術指導を行い、一部を生産委託。また、三重県工業研究所窯業研究室、三重県等と連携して実験データを積み上げ実用化を図る。

認定後の事業展開

・対象商品の売上高が大幅アップ 申請時(H19年):13百万円 → H21年12月期:129百万円
・雇用の拡大 申請時:47人 → 現在57人
・マスコミ等による取材増加 NHK「ふるさと一番!」、フジ系「新報道2001」、TBS系「がちりマンデー」での放映をはじめ、「オレンジページ」等の雑誌や新聞等の記事掲載が増加



【電子レンジ対応炊飯土鍋『陶珍かまど』】



【木・金・土をコラボレーションしたIH対応鍋『よろず屋さん』】

農工商等連携促進法に基づく認定事業計画

■認定日:平成21年2月25日 ■農林水産物名:大豆、米 ■地域:四日市など

事業名	深層水を活用した「にがり農法」による大豆と米の生産、及びこれらを使用した大豆パウダーと米粉パウダー及び加工食品群の製造販売
連携体	中小企業者 ミナミ産業(株)(製造業) 農林漁業者 斉藤農場(農業) 連携参加者 三重大学生物資源学部教授梅崎輝尚、「にがりの会」農業者他

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

ミナミ産業(株)は、「品質の安定した大豆栽培」を目指し平成13年から海水から取れる「にがり」等を使った大豆栽培の実験を始めた。その後三重大学と共同研究を開始し、専門家の指導、協力を受けながらにがりを使った実験、研究をすすめてきた。さらに、平成19年にミネラル分を多く含有したクリーンな尾鷲深層水の「にがり」を利用した栽培を斉藤農場等と協力して行い、一定の栽培方法を確立した。これらを原料に安全で品質が高いトレーサビリティを徹底した大豆パウダー、米粉パウダー及びそれらの用途開発するために、今回連携を組むこととなった



にがり散布風景

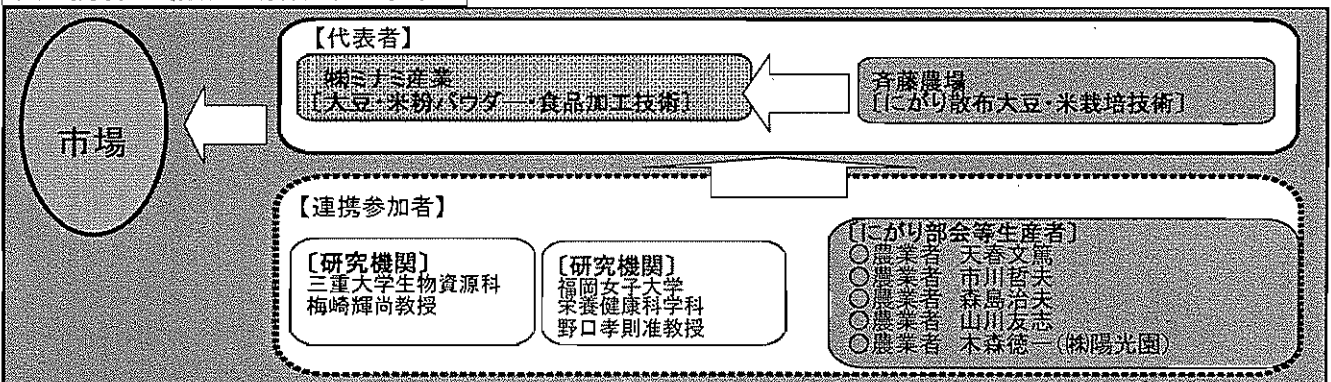
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

本事業では深層水から抽出した天然の高ミネラルにがりを使い、農業や化学肥料の使用を低減させた栽培法により大豆、コメ栽培を行い、「にがり農法」導入、消費者に安全安心な情報を開示できる栽培方法を確立すること、ミナミ産業の超微細化技術や加工食品の開発技術など 農工商の技術を融合させて競争力のある大豆パウダー・米粉パウダーやそれらを使った加工食品の新商品を作り、強いブランドアイデンティティを構築する。



にがり農法で栽培された大豆のパウダー

◆連携体の構成と活用する経営



◆認定後の事業展開

- ・対象商品の売上高の増加 申請時(H20年10月期):0円→H21. 10月期:6百万円
- ・大豆契約栽培の増加 現在:四日市市内で25% (他に松阪地域においても契約地あり)
- ・大豆まるごと商品の全国フランチャイズ展開 現在:54件

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):ミナミ産業(株)(三重県四日市市東新町3-18)
- ◆電話番号:059-331-2158 ◆FAX番号:059-331-7324
- ◆E-mail:minami@minamisangyo.com ◆ホームページ:http://www.minamisangyo.com/

みえ地域コミュニティ応援ファンド 助成事業

助成決定年度	平成19年度		
テーマ	東紀州地域「地場産品」のネットカタログ販売事業創設による流通革新計画		
事業者	ギョルメ舎フーズ株式会社	所在地	北牟婁郡紀北町

事業概要

○特徴・課題

熊野灘に面するこの地域は、新鮮な海の幸やミカンなどの資源に恵まれ、これらの特性を活かした加工品が特産品となっている。
しかし、人口減少の著しい当地域での販売拡大には限界があり、地域外に向けての情報発信や販路開拓が課題となっていたが、小規模事業者がほとんどで独自では力を入れられない状況にある。

○取組要旨

東紀州地域の小規模事業者が作った地場産品を集めたネットカタログ及び紙面カタログを製作し、インターネットによる新しいダイレクト販売システムを構築。
また、消費者の評価を事業者にフィードバックし、新しいニーズ商品への対応や品質の改善等の商品ブラッシュアップに貢献する取組。

○事業が目指す地域産業への貢献・波及効果

消費者評価や売れ行きを出品事業者に伝えることで、地域の小規模事業者でも消費者ニーズに対応した商品改良・アイテム拡充が可能となり、効果的な経営判断が下せることを期待できる。

○新商品・新サービスの内容

- 東紀州の地場産品を季節商品として販売
- ・取扱商品例
レンジで干物シリーズ、紀州名産寿司、お茶
大内山アイスクリーム、生ラーメン 等
 - ・販売サイト：熊野水軍
<http://www.rakuten.co.jp/kumanosuigun/>

○販売実績等

- ・売上も確保でき、地域小規模事業者から新規アイテム提案も出ている

商品・サービスの内容

商品

- ◆東紀州の地場産品

サービス

- ◆インターネットカタログ
- ◆紙面カタログ



連絡先	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島189-1 ギョルメ舎フーズ株式会社 TEL 05974-7-0066
-----	---

みえ地域コミュニティ応援ファンド 助成事業

助成決定年度

平成19年度

テーマ

南伊勢町特産品「あおさ」を使った世界初の焼酎の開発・販売プラン

事業者

有限会社マサヤ

所在地

度会郡南伊勢町

事業概要

○特徴・課題

南伊勢町は漁業を中心とする一次産業、観光が主力産業であるが、人口流出、高齢化も顕著である。

この地域の産業を活性化するため、特産品を利用した加工商品の開発を目指した6次産業化が課題となっている。

○取組要旨

南伊勢町特産の「あおさ」を原料に使用した焼酎の開発・販売。

商品化までには、くまの灘漁協による原料の協力や、県立南伊勢高校の生徒によるラベルデザインなど、地域の資源・知恵をあわせ、地域を愛する人々が一体となって開発した。

この新商品を地域の酒類販売店や飲食店・民宿・旅館に対し販売展開を実施。

○事業が目指す地域産業への貢献・波及効果

地域で新商品を作り出し、これを飲食店、宿泊客の減少に悩む民宿・旅館が採用し新メニューとして提供し好評になれば、町内の事業者が自分たちでもやればできるといった次の取り組みへの波及効果が期待できる。

○新商品・新サービスの内容

- ・南伊勢町の特産品「あおさ」を原料とした海藻焼酎

○販売実績等

- ・売上也確保でき、雇用にもつながっている



連絡先

三重県度会郡南伊勢町1114-10
有限会社 マサヤ
TEL 0599-69-3111

みえ地域コミュニティ応援ファンド 助成事業

助成決定年度	平成20年度		
テーマ	地域資源(人・農作物)を活用した高齢者・若者参加型地域活性化プラン		
事業者	尾呂志地場産品生産組合 (合同会社さぎりの里)	所在地	南牟婁郡御浜町

事業概要

○特徴・課題

御浜町の中でも山間部に位置する尾呂志地区は、過疎化、高齢化、遊休農地の拡大等により集落機能が低下している。
 そのなかで、昔から自給的な小規模な米作や農作物の栽培、山菜取りが行われることが高齢者の日常生活の一部になっている。
 これを収入源とするため、地元農家が集まって組織化し、農産物直売所(さぎりの里)を運営していた。

○取組要旨

直売所の運営が高齢化している中、地元のイターン者や地域住民が生活できることを目標に、高齢者と若者の両方が興味を持って運営できる、農産物加工(菓子、餅、水煮等)に取り組み、加工品販売を直売所(さぎりの里)で行う。
 こうした特産品づくりを通じて、地域の振興につなげ、「高齢者の生き甲斐対策」、「収入の向上」につなげる。

○事業が目指す地域産業への貢献・波及効果

近隣の交流施設の完成や道路整備に伴い、地域外住民との交流機会が増えるなか、直売所で販売できる加工品ができることで、地域就労の場の確保や農業後継者・遊休農地対策に寄与することが期待できる。

○新商品・新サービスの内容

- ・地元でつくる農産物販売
- ・加工品の販売
 - タケノコ、ゼンマイなどの水煮
 - こんにゃく
 - 餅
 - 菓子類 等の製造販売

○販売実績等

- ・売上も確保でき、雇用にもつながっている



連絡先	三重県南牟婁郡御浜町大字上野847 合同会社さぎりの里 TEL 05979-4-1632
-----	--